

雑草が気になるシーズン（5月から11月）は、刈払機による事故が増える時期です。事前の準備や万一の場合の対処方法をおさらいしておきましょう。

令和5年6月（通算第126号）

発行：  
公益財団法人東京しごと財団  
（東京都シルバー人材センター連合）

## 飛び石の時速40～60km 飛距離は10数m以上！ 刈払機を正しく使って事故を防止しよう

### 作業の前に

- 長袖、長ズボン、保護帽、保護メガネ、手袋、安全靴やゴム長靴など滑りにくい靴を着用していますか？
- 作業前に障害物（石、空き缶、木片、ビニールロープなど）を確認・除去しましたか？
- 養生パネルや飛散防止ネットを準備しましたか？

#### **養生なしの作業は禁止です**

車はできるだけ石が飛ばない場所へ移動し、近隣住宅等は雨戸を閉めてもらうようにしましょう

- 作業者と養生担当者間で作業内容（進行方向等）について事前確認しましたか？  
作業者の進行方向の正面から左前が最も飛びやすいので、養生担当者の立ち位置を確認しましょう



### 万トラブルが発生したら……

#### **何かを巻き込んだ時**

刈刃に巻き付いた草や異物を取り除く際は、必ずエンジンを止めて、刃が止まったのを確認してから行いましょう

#### **ケガをしたり、体に異常を感じたら**

応急処置をし、必要に応じて119番、シルバー人材センターに連絡しましょう

#### **周囲への被害が生じたら（物損事故）**

周囲の安全を確保した上で、所属するシルバー人材センターに連絡して指示を仰ぎましょう

※万一に備えて連絡網を作成しておきましょう